

第3回蓮田市政策研究会議会議録

開催日時

平成26年8月21日(木)

午前9時30分

開会

午前11時

閉会

開催場所

蓮田市役所 ランチルーム

会議経過(議事の要旨)

1. 開会

新井代表挨拶

2. 会議

1) アンケート調査の実施について

メンバーの意見を反映し、別紙のアンケート調査を実施する。関係課の協力をお願いし、9月からアンケート調査を実施する。

2) 蓮田市の魅力やウィークポイント等について

前回の会議(ブレインストーミング)では、物理的、地理的なものについて同じ意識を持っていると思われるが、ソフト面においては温度差がある。個人の感覚の差を埋め合わせしたい。そのための自由な意見交換を行いたい。

3) 本会議における人口増加策について

- ・子育て支援アンケート調査結果から、20～40代の世代への政策立案が求められている。
- ・蓮田市は、教育・子育て・都市基盤整備に重点を置いて政策を実施しているが、その中から人口増加策のテーマを絞り込めたらと考える。また、上尾市、久喜市、桶川市、白岡市、伊奈町の人口動態を比較しながら人口増加策を検討したい。

意見)

- ・伊奈町などは若い夫婦をよく見かける。若い人たちが魅力を感じる住環境となっている。

- ・日本全体が人口減少の中で、人口増加を促す要因は基盤整備・ステータス・利便性・人気等を訴えなくてはならないが、蓮田市が目指すのは大規模な人口増加なのか社会減を縮小する現状維持なのかで変わってくるのでは。

- ・若い世代が転入するためには、所得に応じた経済的な負担額を考慮しなければならないと思う。また、市域内を自由に移動できる交通体系(循環バス等)が必要ではないか。

- ・市が行っている施策をPRし、魅力をアピールすることが必要ではないか。目に見える、数字で比較できる指標などによるPRが必要。教育は、比較する指標作りが難しいが、子育て支援は比較できるのでは。

- ・上尾市は交通体系・商店街などの充実から住みやすいと感じるが、反面、犯罪の発生率が高い。転入者は、環境の良し悪しなどで判断するのではなく、建物の間取りや値段などで決定している。蓮田市の良いところを積極的にPRし、蓮田市を知ってもらうことが先決では。

- ・個人の感覚で転出入しているのが実態。

- ・人口増加策の施策は、長く続くものとして、若い世代がターゲットになると考える。アパートの家賃補助などはいつか転出してしまおう人への支援と思う。定住策となる支援策または蓮田の不足分を充実するための外部へのPRなどのソフト対策が必要では。

- ・蓮田市が取り組んでいる支援策などが外部に伝わっていないことから、蓮田市は何も支援がないといわれてしまう。特に、子育て世代のニーズにこたえる政策が求められていると感じている。

- ・教育水準が高いといわれるが、家庭での教育の考え方や学習塾への通学など、家庭の取り組みの成果が大きいと感じる。

- ・外国人をターゲットにした人口増加策は、これまでと違った視点での取り組みであり、公平な負担が可能な外国人の転入はプラスになると考える。納税の義務や日本の制度などを理解する取り組みが必要ではないか。

・ファミリー向け物件の斡旋等により若い世代の定住化を促進することが良いのでは。既存の土地・建物の有効利用と不動産業界を取り込んだ情報提供など。

・世代間近住の施策が良いのでは。高齢者介護などにつながる。

◎人口減の対処療法でなく『人口増加策』を目標に取り組みたい。蓮田市のような成熟した街の新たな開発は難しい。

◎若い世代の移住のチャンス(結婚・出生・進学)を捉えた政策を検討する。

◎情報発信の重要性を再認識し、シティセールスに取り組む。

◎婚活イベントなどの楽しい企画も考えていきたい。

◎子育て世代と接している社会教育指導員等の担当者を招いて現場の声等を聴くことも考えていきたい。

4その他

○ふるさと納税事業について

シティセールス等の一環としてふるさと納税について検討していきたい。

蓮田市の特産品等の提案は事務局まで。

○蓮田市政策研究会議をホームページにアップし、蓮田市のPRにつなげたい。

○次回会議予定……平成26年9月12日(金) 15:00～ 302会議室